

施設における看護業務

《医務という立場上、医務室の整理整頓・衛生面に注意》

① 自己管理を助ける。

高齢者個々の健康状態を十分に観察し、問題を早期に発見する。
高齢者の気持ちを尊重しながら、解決に向け支援をする。

② 健康上の相談にのる。

プライバシーを守り、職員が高齢者の立場に立ってゆっくり聞き、具体的な対処の方法を指導する。

③ 自立を促す一方、必要な事は上手に依存できる様に働きかける。

自分の力を最大に生かしながら生きて行くことは重要であるが、年をとるにつれ職員の援助を必要とする利用者様がほとんどである。遠慮や気がねをせず、援助が受けられるように配慮する。

④ 人間関係を円滑に保つための調整的な働き。

長い人生を生き抜いてきた高齢者は、生活背景や性格が大いに異なる。その為、高齢者同士の関係を円滑に保っていくことは難しい面も多く見られるが、施設は、生活の場であることから、人間関係を良好にするための働きかけは重要視する必要がある。

⑤ 高齢者の生きがいを大切にする。

⑥ 他職種との連携を密にし、公平で一貫した援助を行う。

特に介護職員との協力を密にする。

⑦ 入所者が、職員に対し信頼を寄せ、日々の生活に満足感が保たれる援助活動をするためには、職員も心身ともに健康でなくてはならない。その為の健康管理を行う。

⑧ 処置等の個人に関わる業務に関してはプライバシーの保護に努める。